

社協ふないり

発行 舟入地区社会福祉協議会
 発行責任者 会長 福井 彰
 住所 広島市中区舟入南3丁目6-15
 唯信寺内 パルティア 1階
 電話 082-503-2405

令和3年度敬老会について

舟入地区社会福祉協議会 会長 福井 彰

本年度もコロナ禍が治まりを見せず、変異して感染力を強めております。そのような中で、舟入地区の敬老会を開催するのは、三密の対策が取れない中で、大変危険であることから、本年度も中止せざるを得ないとの結論に達しました。しかし、お祝い金については、町内会に加入しておられる該当の方には、それぞれの町内会から、お祝い金が届けられました。ちなみに、舟入地区のお祝い金受領者の数はつぎのとおりでした。

喜寿（77歳）75名、
 米寿（88歳）40名、
 白寿（99歳）7名



おめでとうございます。

安心ネット舟入

舟入ネットワーク台帳の再度作成について

舟入地区社会福祉協議会福祉推進委員 黒田政一

平成27年度に作成された、舟入地区災害時要支援者及び近隣ミニネットワークの台帳が更新されることなく今日までに至っていることから、見直しをするために、舟入地区民生委員児童委員の皆さんのご協力の下、舟入ネットワーク台帳を再度作成。台帳をもとに、一人暮らしの高齢者の方々が安心して過ごせるように、舟入地区社会福祉協議会、各町内会、民生委員児童委員が協力をして見守り活動を実施するものです。江波地域包括支援センターへの要請も必要に応じて行います。

舟入地区社協での活動について

中区社会福祉協議会 生活支援コーディネーター
 川中真央

令和2年4月より中区社協の生活支援コーディネーターとして、サロン活動、ボランティアバンク、見守り活動を中心とする地域活動を舟入地区社会福祉協議会のみなさんと一緒に考え、一緒に活動をさせていただいております。

生活支援コーディネーターになった当初、どのように活動したらよいか悩んでいる時に、新しく立ち上げた「舟入サロン」の運営を一緒に考えてもらえたらと声をかけていただき、舟入地区社協の事務所に顔を出させてもらうようになりました。舟入地区社協の事務所は毎週火、金曜日に開設しておられ、顔を出すと必ず地域の役員の方がおられ、雰囲気も明るく、とても寄りやすい場所です。

一昨年より新型コロナウイルス感染症の影響で今まで当たり前のよう開いていた事務所やサロンを休止せざる得ない状況となり、顔を合わせない、集まらないということを求められる時期が増えてきました。そんな状況の中でつながりを途切らせないために大切なことは、地域住民同士で気に掛け合い、ゆるやかにつながることに再認識したのではないのでしょうか。

そこで、この夏より、舟入地区社協、江波地域包括支援センターのみなさんと今までそれぞれの機関で行っていた見守り活動について振り返り、より強化し、コロナ禍でもつながり続けていくための体制づくりについて一緒に考えております。

今後とも舟入地区に住まれている方たちにとって住みよい地域になるようにみなさんと共に活動をさせていたきたいと思っております。

令和3年度「クリーン太田川」

清掃活動の実施

舟入学区公衆衛生推進協議会 会長 古田隆重

「クリーン太田川」とは、平成4年に太田川の環境美化に恒常的に取り組んでいくため、「クリーン太田川実行委員会」を設立し、毎年7月の河川愛護月間に太田川流域の広島県の住民による河川一斉清掃が実施されているものです。

舟入地区連合町内会としては、令和3年7月25日（日）に、連合町内会の委員会である舟入学区公衆衛生推進協議会の推進委員他により、河川一斉清掃を実施しました。

天満川（西川口町～昭和大橋）の清掃を、川公・川西・南二丁目・南三丁目・南六丁目の推進委員他12名で実施しました。また、本川（舟入橋～吉島橋）の清掃を、川東・川中・川南・川下の推進委員7名で実施しました。

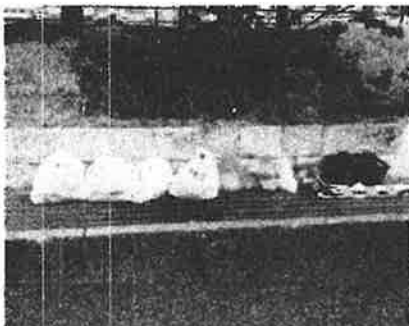
川土手や道路際を移動しながらゴミを集めて回りました。清掃活動に参加して頂いた方々には、暑い中お疲れ様でした。ありがとうございました。



天満川
12名参加



本川
7名参加



天満川
上手回収ゴミ

舟入地区の浸水について

舟入地区自主防災会連合会 会長 佐藤清純

去る7月8日（木）に発生した舟入地区全域の浸水について、8月2日（月）広島市下水道局に市の対応策を尋ねました。回答は以下の通りです。

舟入地区の浸水対策として、平成25年に直径約4.7mの幹線下水管が平和大通りから江波下水処理場まで完成。処理施設には繋がらないで、当面、貯水タンクとして運用されている。運用開始からしばらくは舟入地区の浸水はなかったが、ここ最近の異常気象で、豪雨になることが多く起こり、それ以来、舟入地区の浸水が再び起こるようになった。

当日（7月8日）は、時間雨にして、80mmを超える降雨量であったため、4.7mの下水管（貯水管）がすぐに満杯になり周辺の雨水を吸収できなくなった。終端にはポンプを付けて、晴れた日には川に放流しているが、本格的なポンプ場（新江波ポンプ場）の建設は令和22年（2040年）の着工予定。

又、現在の4.7mの下水管をさらに延長する計画がある。令和10年に平和大通りから、寺町の方まで工事開始、令和13年に舟入南から江波方面に工事開始する。これが完成すれば、容量が増えるので、少しは緩和されるとのこと。

市内のいたるところに浸水地域があり、その解決に、幹線下水管の埋設工事の必要があり、たちまち、舟入地区に雨水専用の管を新設するのは考えていない。

浸水の被害が生じる個々の住宅、商店については、止水板設置について2分の1の補助制度があるので、これを利用して、個別に対策をしてほしい。

結論として、

市としては、舟入地区の浸水について、新たな対策は考えていない。個々において浸水対策をしてほしいとのこと。そのための補助を出すとのことです。

問い合わせ先：

広島市下水道局 施設部 計画調整課

電話：082-504-2413

====☆====☆====☆====☆====

コロナ禍による行事の縮小・中止について

- ・舟入神社秋季大祭 10月24日（日）のみ
- ・舟入公民館祭り・献血は中止になりました。
- ・各町内会 亥の子祭り 中止になりました。

訂正とお詫び

前号の「社協ふないり」でお名前の誤りがありましたので、訂正して、お詫びを申し上げます。

（誤）細崎 進 様

（正）細崎 勇 様